

外国出張報告書

平成 26 年 12 月 16 日

1. 出張国名 ガーナ、ブルキナファソ、エチオピア
2. 出張月 平成 26 年 9 月～11 月
3. 出張目的 実証調査準備及び情報収集、セミナー参加、緑肥栽培試験、
 土壌炭素モニタリング：A

4. 成果の概要

 ガーナにおいて実証調査準備に関し、土のう積み堤体試験に関連して土のうの利用状況、土のう袋の価格を調査した。併せて実証調査対象地の土壌に関し土質試験結果を得ると共に、土のう中詰め材として利用予定のソイルセメントの強度試験実施を依頼した。また KNUST(エンクルマ大)と堤体試験内容について打合せを行った。加えて Technical Committee において水資源開発分野のこれまでの調査結果等を報告した。

 ブルキナファソにおいてダム等に関する情報収集、現地調査を行うと共に JIRCAS 主催のシンポジウムに参加し、水資源開発分野のこれまでの調査内容を説明した。

 緑肥栽培試験のモニタリング、結果のとりまとめを MU(メケレ大学)と行った。
その結果 Fababean が単位面積当たりの乾物重で最大値を示した。また展示ほ場の土壌炭素モニタリングに関し、土壌サンプル採取、輸入手続き準備を行った。